



市民公開講座「聞いて安心 おなかの病気」

答 周桑病院においては、眼科で、9月から医師の派遣元の愛媛大学から後任の派遣が困難であるため、週2日の非常勤体制に至った。医師確保策については、関係大学への要請、地元出身医師の情報収集・勧誘活動に積極的に努め、当院への就業を強く求めており、さらなる交渉を続けていきたい。

産婦人科に関する関係機関との協議については、去る6月26日に、保健所・医師会と

市の三者による、地域医療体制に関する意見交換会を開催した。研修医制度改革により、地方の医師が不足しており、特にハイリスクを伴う産科医は他の診療科に比べて医師確保が困難を極めていることから、解決の糸口を見出すことはできていない。今後、国の緊急医師対策の効果に期待したい。

請 願

【不採択】

- ・労働法制の拡充の意見書採択を求める請願
- ・消費税の増税計画に反対する請願
- 【継続審査】
- ・トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める請願
- ・安全・安心の医療と看護の実現を求める請願



委員会提出議案

企画建設委員会から次の意見書案が本会議に提案され、その結果、挙手多数で可決され、政府関係機関に提出することになりました。

地方の道路整備財源の確保に関する意見書（要旨）

道路は、経済、社会活動の根幹となる重要で最も生活に密着した社会資本である。公共交通機関が貧弱で、

道路交通への依存度が高い地方では、道路は命綱であり、そこに暮らす人々が安全で安心して豊かな生活が送れる地域社会を実現するためには、国道、県道等の幹線道路から市道に至る生活道路網の整備と耐震補強等の既存ストックの適切な維持管理が必要不可欠である。

本市では周辺地域との広域連携を支える四国8の字ネットワークや今治・小松自動車道の整備、住民生活を支える一般国道11号、一般国道196号の整備、さらに

は、本市の臨海地域の発展・振興に欠かすことの出来ない主要地方道壬生川新居浜野田線などの整備が必要である。

しかし、国においては、道路特定財源の使途拡大や一般財源化を含め、今年度末に道路特定財源制度そのものを抜本的に見直すと聞いており、道路整備の遅れている地方では容認できない。

このままでは、幹線道路の整備はもとより生活道路である市道の整備にも支障を来し、大都市圏との格差がますます拡大し、地方の自立・自活が阻害される。

よって、国は、地方の声を把握し、地方における道路の役割、重要性・緊急性を認識され、道路特定財源制度の見直しにあたっては、遅れている地方の道路整備を引き続き強力に推進するため、受益者負担という道路特定財源制度の趣旨に反することなく、必要な財源を確保するよう強く要望する。

決算審査特別委員会を

設置・委員を選任

9月定例会開会日に、平成18年度各会計歳入歳出決算の審査を行うために、特別委員会設置を議長発議で諮った結果、可決され、次のとおり委員が選任されました。

委員 長	徳 増	稚 養 一
副委員 長	越 智	俊 幸
委員	行 元	博 幸
委員	児 玉	千 春
委員	西 坂	信 春
委員	黒 河	諄 信
委員	近 藤	達 諄
委員	岩 城	博 也
委員	曾 我	幸 年
委員	黒 河	幸 広
委員	紘 一	郎



市道古川樋之回線